

資料1指標数値 計算資料

項目	H28(2016)年		H29(2017)年	
	宮城県	全国	宮城県	全国
①出生数	17,370	976,978	16,582	946,065
②周産期死亡数(③+④)	57	3,516	64	3,308
③妊娠満22週以後死産数	41	2,840	48	2,683
④早期(生後7日未満)新生児死亡数	16	676	16	625
⑤生後7日以降新生児死亡数	5	198	4	207
⑥新生児死亡数(④+⑤)	21	874	20	832

周産期死亡率(出生千対) (②/(①+③)×1,000)	3.3	3.6	<u>3.8</u>	3.5
新生児死亡率(出生千対) (⑥/①×1,000)	1.2	0.9	<u>1.2</u>	0.9

⑦周産期母子医療センター及び病院勤務 産婦人科医師数(非常勤医師は常勤換 算しているため端数が生じる。)	90.4	11,349	94.9	11,349
⑧周産期母子医療センター及び病院の年 間分娩数(出生及び22週以後死産児数)	9,264	979,818	9,081	948,748

周産期母子医療センター及び病院の医師 1人当たり分娩取扱数(⑦/⑧)	102.5	86.3	<u>95.7</u>	83.6
---------------------------------------	-------	------	-------------	------

※全国の医師数は三師調査(隔年)を利用しているため、H28年とH29年を同数としている。また、診療所も含めた数値としており参考値扱い。

参考)統計データ

(1)妊娠週数別死産児数推移 ※H28年度から調査。H30年度調査から項目を細分化。

週数別		2015年	2016年	2017年		
早産	22～23週	22週	21	7	4	Σ 10
		23週			7	
	24～27週	24週	18	12	3	Σ 8
		25週			2	
		26週			2	
		27週			1	
		28週			2	
	28～33週	29週	10	9	1	Σ 10
		30～33週			7	
		34～36週			2	
正期産	37～41週	11	7	17		
過期産	42週～	0	0	0		
計		67	41	48		

(2)体重別死産児数推移 ※H28年度から調査。H30年度調査から項目を細分化。

体重別		2015年	2016年	2017年			
低出生体重児	<500	<400	30	11	8	Σ 13	
		400 ≤ <500			5		
	500 ≤ <1000	500 ≤ <750	13	12	6	Σ 8	
		750 ≤ <1000			2		
	1000 ≤ <1500	1000 ≤ <1250	7	3	1	Σ 7	
		1250 ≤ <1500			6		
	1500 ≤ <2000	1500 ≤ <2000	4	5	5		
	2000 ≤ <2500	2000 ≤ <2500	7	4	3		
		2500 ≤	2500 ≤	6	6	12	
	計		67	41	48		

(3)新生児死亡数推移

区分	2014年	2015年	2016年	2017年
早期(生後7日未満)新生児死亡数	19	10	16	16
生後7日以降新生児死亡数	20	5	5	4
新生児死亡数	39	15	21	20
出生児数	18,178	18,201	17,370	16,582
新生児死亡率	2.1	0.8	1.2	1.2

(4)周産期母子医療センター及び病院の産婦人科医師数推移

施設別		2014年	2015年	2016年	2017年
周産期母子医療センター	常勤	51	66	68	75
	非常勤	4.5	8.3	7.4	6.1
病院	常勤	13	12	13	11
	非常勤	3.4	2.8	2.0	2.8
計		71.9	89.1	90.4	94.9